



(今週のメニュー)

1. グッドぐんまの旬の市通信について (管理部 企画開発課)
2. 園芸販売課情報 青果物の市場概況について (園芸部 園芸販売課)
3. 園芸資材課情報 トロ箱システム「ういず ONE」について (別添) (園芸部 園芸資材課)
4. 気象情報 (営農総合支援センター)

1 グッドぐんまの旬の市通信について

(発信部署：管理部 企画開発課)

内 容：東京・浅草の「グッドぐんまの旬の市」より、8月のイベント情報をお知らせします。

2013/8/1 No.64

「グッドぐんまの旬の市」通信

○旬の市 イベント案内○

開催日	イベント名	内容
8月8日(土)	JA嬌恋村 キャベツの日フェア	高原キャベツの試食販売
8月10日(土)	県内産食材使用 漬物フェア	群馬県産漬物の試食販売
8月17日(土)	JAあがつま 産直野菜フェア	とうもろこし・トマト他の試食販売
8月24日(土)	エコープ商材フェア	エコープマークの付いた商品の試食販売
8月31日(土)	浅草サンバ地酒フェア 野菜の日フェア	群馬の地酒他試飲販売 野菜の日キャンペーン

* 予告無く変更される場合があります。

○浅草の行事○

8月13日	夜祭とうろう流し	隅田川とうろう流しは1946年の復興祭のとき、とうろうを流したことに始まり、近年は憩いと賑わいの場づくりと隅田川との魅力ある触れ合いを高める行事として、それぞれの思いを込めたとうろうが流されます。
8月31日	浅草サンバカーニバル	浅草サンバカーニバルは1981年の開始以来、毎年50万人以上のお客様で賑わう一大イベントに成長しました。また、ブラジルのリオのカーニバルを手本とする出場チームの、たたのパレードでない真剣勝負のコンテストも見どころの一つです。

●お問い合わせ先「グッドぐんまの旬の市」
TEL. 03-3844-0830
FAX. 03-3844-0837
毎週木曜日定休
〒111-0032 東京都台東区浅草1-34-4

●アクセス
電 車：東武伊勢崎線「浅草駅」……徒歩3分
地 下 鉄：①東京メトロ銀座線「浅草駅」……徒歩3分
☆銀座線上野駅～3分、銀座駅～15分
②都営浅草線「浅草駅」……徒歩5分
車：首都高速6号線「向島ランプ」
☆雷門前地下駐車場……徒歩5分
水上バス：東京都観光汽船「浅草」……徒歩5分
☆お台場直通ラインあり

以 上

2

園芸販売課情報 青果物の市場概況

(発信部署：園芸部 園芸販売課)

内容：

品名	7月 22日 ~ 7月 27日		7月 29日 ~ 8月 3日	
	高値	安値	高値	安値
だいこん (10kg) DB	945 ~	420	840 ~	420
キャベツ (10kg) DB	1,365 ~	735	1,155 ~	525
はくさい (12kg) DB	1,365 ~	525	1,260 ~	420
ほうれん草 (200g) 袋	179 ~	95	147 ~	68
なす (400g) 袋	168 ~	84	168 ~	74
トマト (4kg) DB	1,785 ~	525	1,890 ~	840
とうもろこし (5kg) 袋	1,155 ~	315	1,260 ~	315
オクラ (100g) ネット			74 ~	42
みょうが (50g) パック			105 ~	63
えだまめ (300g) 袋	158 ~	63	158 ~	63

3

園芸資材課情報 トロ箱システム「ういず ONE」について (別添)

(発信部署：園芸部 園芸資材課)

内容：今回はトロ箱システム「ういず ONE」について紹介させていただきます。

[詳細は別添資料をご覧ください。](#)

2. お問い合わせ先：全農群馬県本部 園芸部 園芸資材課まで TEL027-220-2291

遊休ハウスの新たな活用技術



<システム構成>

1. 灌漑投入機
2. 灌水チューブ
3. プラスB0X(発泡スチロール箱)
4. 園芸培土・バーライト
5. 用肥専用肥料

<ポイント>

- 発泡スチロール箱による断熱効果で、夏期高温時期でも根域温度上昇を防ぐ
- 灌水トリップを用いた用肥専用液栽培であるため、根域制御による専管管理が自由になる
- 灌漑投入機の設置以外は、基本的に自主施工できるため、導入コストが大幅に低下する

<システム構成>

1. 灌漑投入機 ネットコム ラバーレール：イネエムに本社を長らく提携大手の農機具メーカー。モータースタイル全機種により、断熱を兼ねる。アクリルアミド樹脂、アクリルアミドからなる高強度樹脂。指差制御は指先で操作可能、深層まで100cmに100%の灌水可能。
2. 灌水チューブ ネットコム ラバーレール：ポットリッパ → 灌漑専用100cm。1時間あたり1Lの吐出量に調整可能。
3. プラスB0X(発泡スチロール箱) 規格箱：国内大手の発泡スチロール製造メーカー。本館と提携との共同開発機器 (ポイント)
 1. 排水口の傾上：排水と根域温度調整を可能にする。
 2. 根域制御の傾上：モータースタイルの灌水専用液栽培や専用のリッパリッパ。
4. 園芸培土・バーライト

標準培土一貫：ポットリッパの傾上 (ホーニングタイプ)

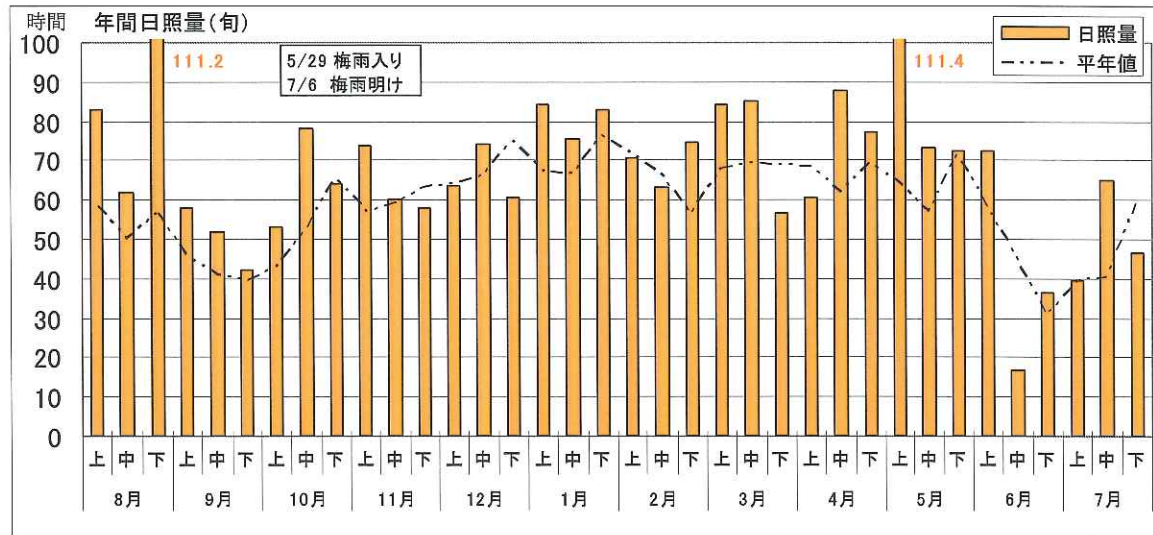
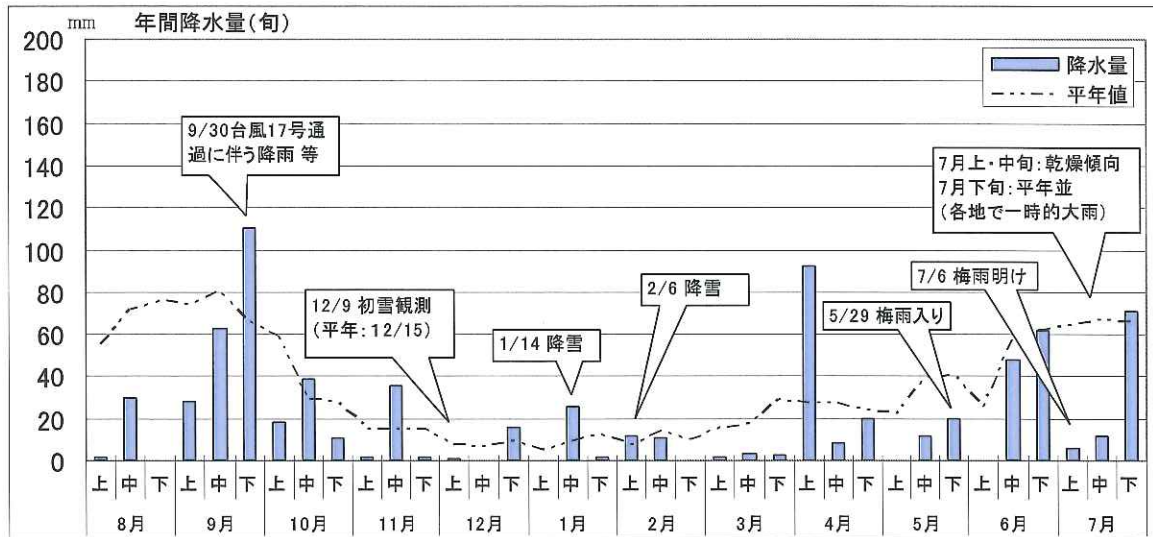
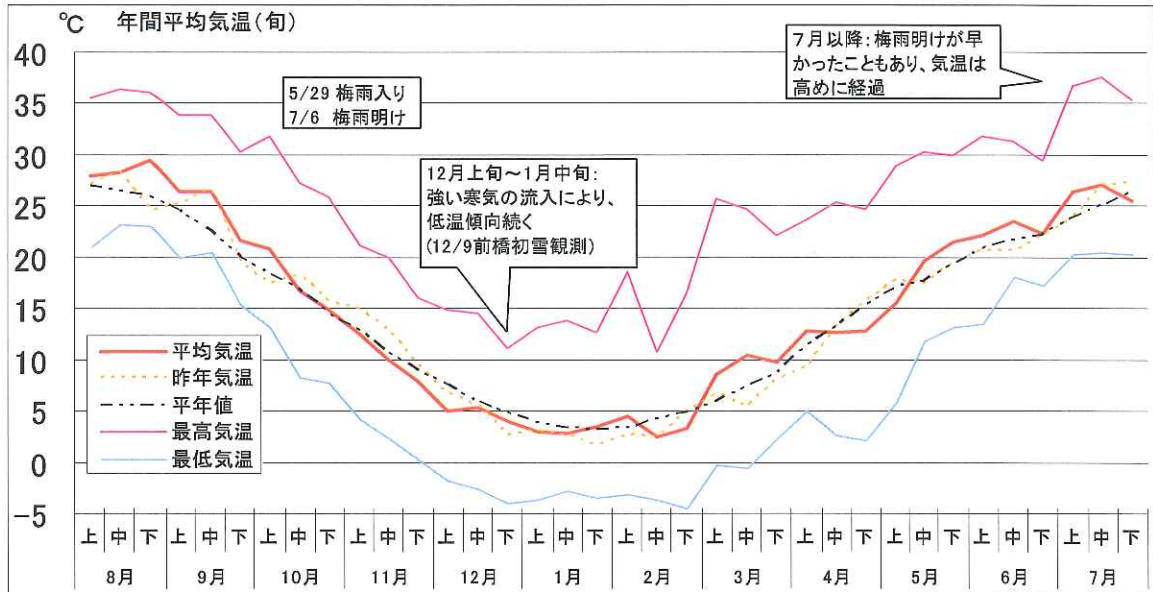
底層培土：バーライト
5. 用肥専用肥料 種類：ネットコムスルホ8 (水肥タイプ/液肥)

※ 本資料に関するお問い合わせは、株式会社 園芸資材課 資材課まで

以上

(発信部署：営農総合支援センター)

内容：気象経過（前橋气象台 標高112m）



【お知らせ①】 **みどりの風** 放送予定

本放送：月曜日 21時00分～21時30分

再放送：日曜日 8時00分～8時30分



<今週の放送予定>

(第1062回) 「日本一！ 嬬恋高原キャベツ」

放送日：8月5日（再放送日：8月11日）
内容：JA嬬恋村より、日本一の生産量を誇る夏秋キャベツの生産の様子や、キャベツの歴史などをご紹介します。

<次週の放送予定>

(第1063回) 「自然風味、あがつまの味」

放送日：8月12日（再放送日：8月18日）
内容：JAあがつまより、地元農産物を使った加工品の製造の様子や、原材料となる白うりやミョウガの生産の様子などをご紹介します。

【お知らせ②】

群馬県が運営するホームページサイト「ぐんまアグリネット」にて、平成24年産の県産夏秋なすの出荷量が日本一になったという記事が掲載されました。以下 URL からご覧ください。

○「ぐんまアグリネットHP」：<http://www.aic.pref.gunma.jp/>

イベント・トピックス

2013 7/29 夏秋なす出荷量が日本一になりました！

県とJAグループでは夏秋なすの生産振興を図るため、新規栽培者の掘り起こし、苗やV字支柱などの購入費の助成、栽培技術と品質の向上支援などを一体となって進めてきました。こうした取り組みにより、県内各地で夏秋なす栽培が拡大し、これまで減少してきた作付面積は平成24年には増加に転じました。また、出荷量は14,300トンとなり、長くトップに君臨してきた茨城県を抜いて日本一になりました。今後も引き続き、関係機関が連携して夏秋なす生産者の支援と生産拡大を進め、将来も残りうる力強い産地を育成していきます。

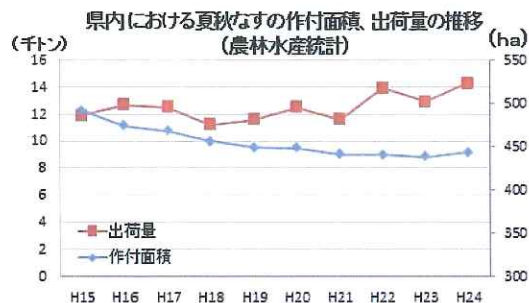


表 平成24年産「夏秋なす」出荷量(上位5県)

順位	出荷量(t)	県名
1位	14,300	群馬
2位	13,500	茨城
3位	11,500	栃木
4位	8,670	京都
5位	6,360	徳島

【 編集後記 】

8月に入り、夏真っ盛りという季節になりました。猛暑日も多い中、熱中症にも気をつけたい時期です。

私事ですが、天気の良い日は庭で過ごすことが多いのですが、蚊に刺されやすい体質のせいで、蚊への対策が欠かせません；蚊取り専用グッズはリキッドタイプなど色々と販売されていますが、我が家では昔ながらの「蚊取り線香」を毎年愛用しています。効果はもちろんのこと、蚊取り線香独特の臭いを嗅ぐと、毎年「夏が来たな～」という感覚になります。蚊取り線香とスイカ（これに風鈴があれば完璧ですが…（笑））で、夏を感じるこの頃です（笑）

営農総合支援センター 生産振興課

(TEL : 027-220-2255 FAX : 027-220-2024)

トマトトロ箱養液栽培システム「ういずOne」の紹介

～水稲育苗ハウス、遊休ハウスの新たな活用技術～

J A全農 生産資材部 資材原料課

J A全農ぐんま 園芸部 園芸資材課

〈はじめに〉

全農では、水稲育苗ハウスや遊休ハウスなどの有効活用を目的として、トマトトロ箱養液栽培システム（以下：ういず One）の開発を行っています。ういず One は、発泡スチロール箱の栽培槽を用いた隔離床養液土耕栽培で、設置が容易で導入コストが安価なシステムとなっています。

ういず One の特徴は、1)発泡スチロールによる断熱効果で、ハウス内温度が上昇しても、根圏温度をトマト限界温度よりも低く抑えることが出来ること、2)根域量が小さくなることで、効率的な草勢管理が可能となること、3)他の養液栽培システムと比較して初期投資が低く、収益性が高いことなどが挙げられます。



図1 トロ箱養液栽培システムの様子

〈栽培手順〉

まず、発泡スチロール箱の底面に鉢底ネットを敷き、その上に排水性を高めることを目的にパーライトを充填します。パーライトの上に培養土を2回に分けて隙間を無くすように充填・鎮圧します。培養土は無肥料で排水性に優れたものを選定します。

この栽培槽に3号無底ポットで育苗した苗を定植します。苗は第一花房開花前後の時とし、培養液濃度や施肥量は、量産型や高糖度型など、それぞれの目的に合わせて設定し、ドリップチューブで株元に灌水します。なお、作型・栽植密度・誘引方法については、導入先の環境条件などを鑑み、慣行栽培に準じて設定することとしています。

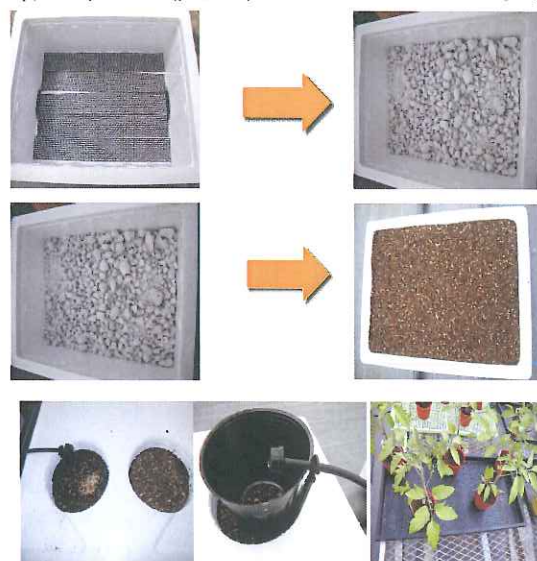


図2 培養槽の作成方法



図3 定植後の様子

〈液肥混入器ミニシステムについて〉

ういず One では液肥混入機として、ネタフィムジャパン製のミニシステムを導入します。ミニシステムは、給液する時の水圧を用いて肥料を投入する仕組みとなっています。また、灌水・施肥を行う際のコントローラが電池仕様となっているため、無電源でも栽培が行えます。



図4 ミニシステム(ネタフィムジャパン)

〈オリジナル発泡スチロール箱〉

全農では、栽培槽となる発泡スチロール箱の独自開発を行いました。発泡スチロール箱は、既製品を自分で加工して作成することも可能ですが、10a規模以上の導入となるとおよそ1,000箱の栽培槽が必要となり自主作成では対応が難しくなります。そこで、全農では、栽培槽となる発泡スチロールに排水口を設け排水性を向上させたり、容量を18ℓと大きくして様々な作物や品種に対応できるようにするなどの付加機能をつけたオリジナルの発泡スチロール箱をメーカーと協同で開発しています。

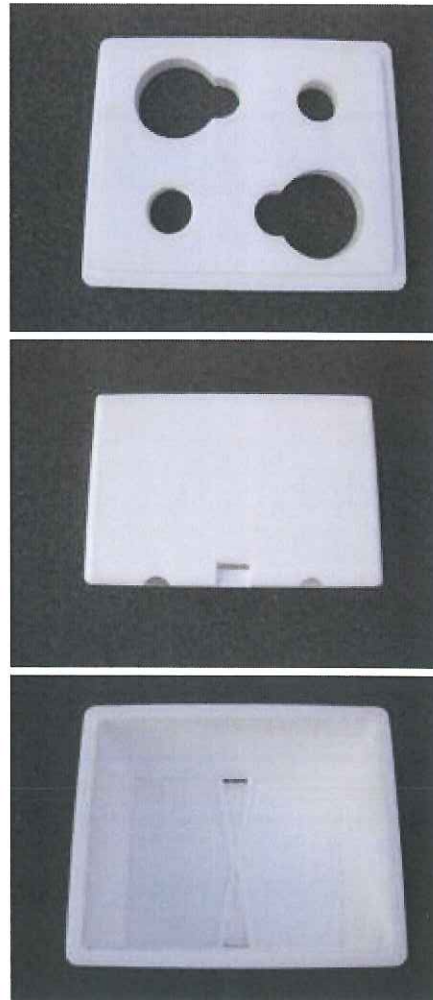


図5 羽根櫛の栽培槽

〈現地導入事例〉

J A山形もがみでは、平成 22 年度より育苗ハウスの閑散期を利用し、ういず One の試験栽培を開始しました。育苗ハウスの規模は約 50a で、12-5 月までネギ育苗として活用されていますが、5-11 月までは遊休ハウスとなる状況でした。このため、J A山形もがみでは、施設の有効活用のために本システムを 12a 規模で導入しました。作型はランニングコストの負担が小さい雨よけ夏秋（無加温）型としました。平成 22 年度の取り組み結果としては、猛暑の影響で収量は目標を下回ったものの、現地の担当者からは、管理が容易で、初期投資額に見合うだけの十分な販売収入が得られたとの評価をいただき、高い収益性が実証されました。



図 6 J A山形もがみのネギ育苗ハウス

図 7 J A山形もがみのトマト養液栽培現場

〈導入経費〉

ういず One の導入経費は、他の養液栽培システムと比較すると、初期投資金額は低くなっています。また、液肥混入機（ミニシステム）にかかる経費

の構成割合が高いため、10a 規模以上では、単位面積あたりの導入経費は低減されます。



表 1. 導入経費の設置面積別試算(円)

項目	分類	設置面積	
		3a	10a
液肥混入機	①装置代	200,000	200,000
	②給液ノズル代	36,000	160,000
	③給液配管代	40,020	163,350
	小計	276,020	523,350
ト口箱	①発砲スチロール代	60,000	200,000
	②鉢底ネット代	900	3,000
	③パーライト代	16,200	54,000
	③培養土代	96,000	320,000
	小計	173,100	577,000
	計	449,120	1,100,350
	坪当たり試算	4,990	3,668

1a/ト口箱100箱(1箱2株を定植)

遊休ハウスの新たな活用技術

ういず One

JA 全農式ト口箱養液栽培システム



< システム構成 >

1. 液肥混入機
2. 灌水チューブ
3. プラスBOX(発泡スチロール箱)
4. 園芸培土・パーライト
5. 隔離床専用肥料



< ポイント >

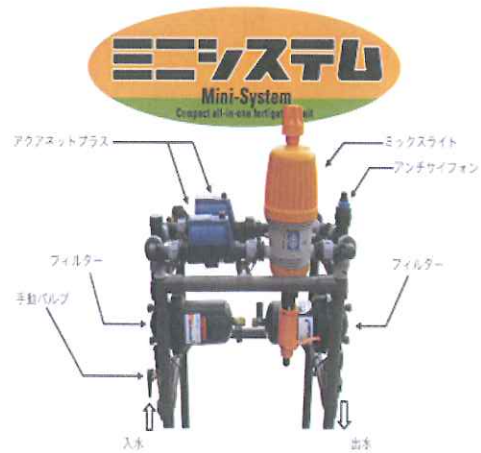
- 発泡スチロール箱による断熱効果で、夏期高温時期でも根域温度上昇を防ぐ
- 灌水ドリップを用いた隔離床養液栽培であるため、根域制限による草勢管理が自由になる
- 液肥混入機の設置以外は、基本的に自主施工できるため、導入コストが大幅に低下する



< システム構成 >

1. 液肥混入機 ネタフィム ジャパン製：イスラエルに本社を置く世界大手の灌水資材メーカー

- * ミックスライト水流圧によって、肥料を混合する
- * アクアネットプラス電磁弁。アクアタイムDCからの信号で開閉する
- * 灌水回数は無制限だが、連続運転で〇〇分に1回のリピートとなる

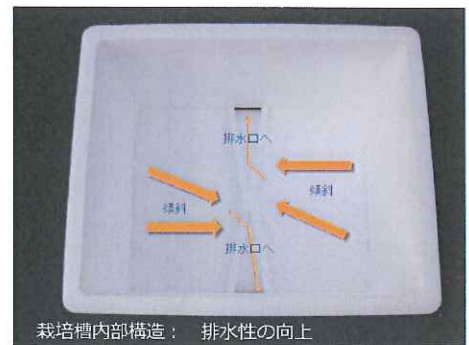
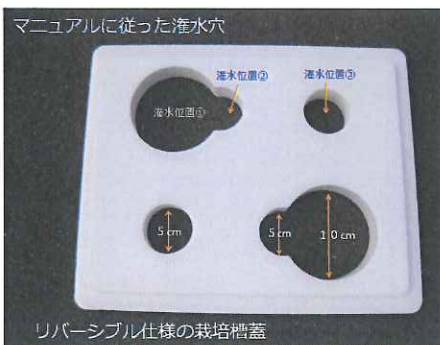


2. 灌水チューブ ネタフィム ジャパン製

- * ポットドリッパー → 適用水圧1.0barで1時間あたり4Lの吐出量に制御する

3. プラスBOX(発泡スチロール箱) 羽根製：国内大手の発泡スチロール製造メーカー

- * 全農と羽根との共同開発商品 〈ポイント〉
 1. 排水性の向上：加えて排液回収機能を付加した
 2. 利便性の向上：マニュアルに従った灌水穴の新設や蓋のリバーシブル仕様



4. 園芸培土+パーライト

園芸培土一例：ポットソイルCタイプ（ホーネンアグリ製）

底下排水用：パーライト

5. 隔離床専用肥料 推奨：タンクミックスA&B（大塚アグリテクノ製）

製 品 名	保 証 成 分 (%)						配 合 成 分 (%)				
	窒素(N/N)	りん酸	加里	苦土	マンガン	ほう素	鉄	銅	亜鉛	珪酸	石灰(CaO)
タンクミックスF(粉体)	10.0(11/8.0)	18.0	33.0	-	0.30	0.15	0.4	0.004	0.012	0.010	-
タンクミックスA(粉体)	11.0(12/8.7)	13.0	35.0	-	0.18	0.18	0.2	0.003	0.009	0.003	-
タンクミックスB(液体)	8.0(-/8.0)	-	2.0	3.5	-	-	-	-	-	-	11.0

* 本商品に関するお問合せは、JA全農 生産資材部 資材課まで